

金融機関が行う事業評価の一つとして I S Oは評価を高めるポイントです。

★品質 ISO の認証取得のメリット★

はじめに

品質 ISO の正式名称は、「**品質マネジメントシステム**」で、ISO9000：基本及び用語と ISO9001：要求事項の 2 冊で構成されています。日本では JIS 規格の発行元である日本規格協会から JIS Q 9000、9001 として発行されています。

品質 ISO は 1987 年に ISO として初めてのマネジメントシステムとして発行されました。

日本で JIS 化されたのは 4 年遅れの 1991 年でした。現在では 100 カ国以上で国家規格として採用されています。

ところで、ISO とは何でしょうか？

「International Organization for Standardization（国際標準化機構）の略称で、世界共通の度量衡の単位やネジのような部品の規格を制定している機関です。

品質 ISO が世界中に普及したので、環境 ISO（ISO14001）、食品安全 ISO(ISO22000) 情報セキュリティ ISO（ISO27001）など多くのマネジメントシステムが制定されています。

品質 ISO（9001）その他 I S O の認証取得によるメリット

金融機関の融資基準・判断方針が変わります

従来の決算書・担保・保証人に頼った判断から企業の将来性や成長性を重視した融資を増加させる。

その中で、最も重要視するのが経営力であります。

経営力の重要な評価の一つとして I S O の認証取得があげられます。

取り組むことで、何が変わるのか下記に示します。

- (1) 入札に必要な経営審査で加点される。
- (2) 究極の目的はお客に満足していただくことにある。品質を保証する仕組みを通してそれを実現する。
- (3) 品質方針を基に品質目標を策定し、それを達成することにより、業績向上に寄与できる。

- (4) 自社の業務内容が体系的に整理されて、役割・責任・権限が明確になる。
また、必要に応じて業務マニュアルを作成して業務の標準化を図り、コストダウンが可能になる。
- (5) 事務所や現場で起きた不具合や顧客クレームを漏らさず報告させて素早く対処するとともに、重大なものは徹底的に再発防止対策を講じて、大事にいたらないようにする。
- (6) 最低でも年に1回、社内での監査と審査機関の監査があり、いやでも継続的改善をせざるを得ない仕組みになっている。
- (7) 従業員の力量を評価して不足しているところを教育または経験により補うことができる。
- (8) 協力業者や購買先に対する評価を行い、パートナーとして共にレベルアップを図っていく。
- (9) 経営者が企業の現状を把握して課題や問題点を認識してもらい、それを解決するために品質 ISO の仕組みを活用できる。
- (10) 経営上で生ずるリスクを洗い出してあらかじめ対応策を立案しておくことで、リスクを最小限にとどめることができる。

以 上